

# 令和 2 年度 事業計画

## 公益財団法人 びわ湖芸術文化財団

### 1 基本方針

滋賀県域全体の文化振興施策を総合的に推進する「公益財団法人びわ湖芸術文化財団」として4年目となる令和2年度においては、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、滋賀県立文化産業交流会館とともに、滋賀県から受託している指定管理（5年間）の最終年度となることから、今期の総括を行うとともに、中期経営計画に基づき、滋賀県文化振興基本方針（第2次）の基本目標「滋賀の文化力を高め、発信することで地域が元気になっていく姿」を実現するため、財団統合による強みや特徴を活かし、広い視野で効率的・効果的に事業展開する。

### 2 事業計画

#### (1) 法人本部

県内の文化ホール、文化活動者・文化団体、学校、企業や地域等とのネットワークを充実し、協働連携のもと、県民誰もが身近に文化芸術に触れられる機会を提供する。

また、県民の創作活動の発表や鑑賞の場、文化情報の提供、さらに東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に滋賀の魅力を発信する「文化プログラム」の実施など、文化で元気な滋賀の実現を目指す。

さらに、前年度から法人本部内に設置した営業部では、総合文化誌「湖国と文化」の販売促進・広告獲得、びわ湖ホールおよび文化産業交流会館、両館の貸館等施設利用促進活動などをはじめ、財団全体の自主財源確保に努める。

#### ア 自主事業

県域を対象に、県内文化ホール等との情報共有や職員のスキルアップを図り、協働連携しながら、本県出身のアーティストを発掘・育成する事業等を展開する。

びわ湖ホールを拠点に開催する「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」が、県内各地で広がる音楽祭となるように推進を図るほか、若手演奏家に発表の機会を提供する「滋賀県ピアノコンクール」、医療・福祉施設における「ホスピタルコンサート」、県内文化ホールとのネットワークの構築や活性化を目指す「滋賀県アートコラボレーション事業」の実施、本県の魅力ある文化的遺産をホームページにより発信する「滋賀文化のススメ」の運営等を行う。

#### イ 受託事業

滋賀県芸術文化祭開催事業、湖国文化情報「れいかる」の編集発行等の県内文化情報提供事業、文化プログラムフェスティバル事業、美の糸口 - アートにどぼん！開催事業、「文化芸術×共生社会プロジェクト」を受託する。

#### ウ 独自事業

総合文化誌「湖国と文化」の編集・発行等を行う。

#### エ 広報営業活動

財団全体を一体とらえた広報活動ならびにチケット発売や企業からの支援獲得等の営業活動を行う。

#### (2) びわ湖ホール

県民が舞台芸術に親しむ機会を提供するとともに、舞台芸術の振興および普及を図り、県民の文化の向上に資するという滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールの設置目的に則り、音楽、歌劇、演劇、舞踊、伝統芸能等の舞台

芸術公演および鑑賞教室や研修等、舞台芸術普及のための事業を企画・実施するとともに、ホール、練習室等の貸館業務および施設の管理運営等を行う。

#### ア 自主事業

大ホールにおいて、びわ湖ホールプロデュースオペラ「ローエングリン」や、沼尻竜典オペラセレクション「セビリアの理髪師」をはじめとしたオペラやバレエ、オーケストラなど13事業16公演を、中ホールにおいて、びわ湖ホール声楽アンサンブルがキャストを務め新国立劇場の地域招聘オペラとしても上演するオペラへの招待「竹取物語」のほか、演劇、狂言、歌舞伎など9事業17公演を、小ホールにおいて、室内楽、専属声楽アンサンブル定期公演など10事業15公演を実施する。

さらに、普及事業として、舞台芸術の普及を図るため、ロビーコンサート、オペラ入門講座、公演に関連したワークショップやプレトークなどを実施するとともに、次世代を担う青少年が本物の舞台芸術に触れる機会を提供する「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」（ホールの子事業）を引き続き実施する。

また、誰もが気軽に音楽を楽しむ音楽祭「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」や、地域と連携して取り組む「びわ湖大津 秋の音楽祭」などにより、賑わいづくりを進める。

また、びわ湖ホール声楽アンサンブルが「オペラへの招待」などのソリストおよび合唱を担うとともに、定期公演や「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」（ホールの子事業）、「学校巡回公演」などの各種自主事業や、地域協働公演としてコミック・オペラ「ミカド」を上演するほか、依頼公演への出演を行う。また、昨年度に引き続き文化庁の委託を受け、国内各地の小学校で今年は演奏会を行う。

#### イ 広報マーケティング

びわ湖ホールからの情報発信とチケットの販売促進を図るため、パブリシティ活動、情報誌の発行、新聞5紙への寄稿のほか、新聞・雑誌・電波等による広告、インターネットなどによる幅広い広報活動を行うとともに、協賛支援の確保や貸館についての営業活動を展開する。

また、インターネットによるチケット販売をはじめ、これまで蓄積した顧客リストの有効活用や組織販売にも力を入れながら、チケットの効果的な販売活動を行い、顧客の拡大に努める。

また、顧客の拡大・定着を図り、チケット販売等を促進するため、引き続き定期的な情報提供や友の会会員向けチケット価格の設定、「湖国と文化」の定期購読者サービス、文化産業交流会館の公演招待を特典に加えるなどサービス拡充により、友の会会員（一般会員・サポート会員・特別会員）の拡大に努める。

さらに、人のネットワークによる観客創造を目的として、劇場サポーターを対象に研修を行うとともに、青少年の舞台芸術への関心を高めるため、引き続きシアターメイツ会員を募集し、一部公演のチケットの割引販売、立ち稽古等の見学会を実施する。また、多くの人びわ湖ホールへの親しみを持つことを目的に館内見学ツアー（まるっとステージツアー）を実施するほか、舞台芸術情報サロンの運営等を行う。

### (3) 滋賀県立文化産業交流会館

県立文化施設における北の拠点として、地域や施設の特性を生かし、優れた舞台芸術の創造や文化、産業の振興に努めるとともに、ホール、会議室等の貸館業務、S O H O施設の提供および施設の管理運営等を行う。

#### ア 自主事業

引き続き文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の採択を受けた特設舞台「長栄座」での邦楽・邦舞の自主制作公演、邦楽を中心とした実演家の養成や古典芸能キッズワークショップを行うとともに、子どもたちがコミュニケーションを築きながら取り組む「次世代育成コースシアター事業」や小中学校および特別支援学校へアーティストを派遣する「アートのじかん」、映像と音楽等を組み合わせた「フィールドアート Media Mix 2021」、県民の企画提案による舞台芸術公演などを開催する。

また、産業分野との連携により起業を目指す人たちの情報交換会「ビジネスカフェ in 文化産業交流会館」

や「近江のあたらしい伝統産業展」を実施する。

イ 広報

ホームページおよびSNSによる発信、マスメディアへのプレスリリースなどを行うほか、ダイレクトメールやメールマガジンなどの情報配信による広報活動を実施する。また、インターネットによるチケット販売をはじめ、連続公演の割引制度の導入などサービスの向上に取り組む。

# 収 支 予 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	476	476	-	
受取会費	25,000	24,150	850	
利用料金収益	230,000	189,737	40,263	
事業収益	371,687	329,267	42,420	
受取補助金等	1,769,191	1,618,779	150,412	
受取寄付金	44,413	32,293	12,120	
雑収益	144,680	142,185	2,495	
経常収益計	2,585,447	2,336,887	248,560	
(2) 経常費用				
事業費	2,614,230	2,400,413	213,817	
管理費	13,404	10,786	2,618	
経常費用計	2,627,634	2,411,199	216,435	
(うち人件費)	595,426	565,778	29,648	
評価損益等調整前当期経常増減額	42,187	74,312	32,125	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	42,187	74,312	32,125	
税引前当期一般正味財産増減額	42,187	74,312	32,125	
法人税、住民税及び事業税	124	124	-	
当期一般正味財産増減額	42,311	74,436	32,125	
一般正味財産期首残高	334,448	356,326	21,878	
一般正味財産期末残高	292,137	281,890	10,247	
指定正味財産増減の部				
受取寄付金	12,300	16,350	4,050	
一般正味財産への振替額	44,413	32,293	12,120	
当期指定正味財産増減額	32,113	15,943	16,170	
指定正味財産期首残高	175,465	194,730	19,265	
指定正味財産期末残高	143,352	178,787	35,435	
正味財産期末残高	435,489	460,677	25,188	

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	238	-	238	-	476
受取会費	12,500	-	12,500	-	25,000
利用料金収益	119,000	111,000	-	-	230,000
事業収益	371,687	-	-	-	371,687
受取補助金等	1,546,574	222,617	-	-	1,769,191
受取寄付金	44,203	189	21	-	44,413
雑収益	14,611	130,041	28	-	144,680
経常収益計	2,108,813	463,847	12,787	-	2,585,447
(2) 経常費用					
事業費	2,249,804	364,426	-	-	2,614,230
管理費	-	-	13,404	-	13,404
経常費用計	2,249,804	364,426	13,404	-	2,627,634
(うち人件費)	527,041	64,681	3,704	-	595,426
評価損益等調整前当期経常増減額	140,991	99,421	617	-	42,187
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	140,991	99,421	617	-	42,187
他会計振替額	97,552	99,421	1,869	-	-
税引前当期一般正味財産増減額	43,439	-	1,252	-	42,187
法人税、住民税及び事業税	-	124	-	-	124
当期一般正味財産増減額	43,439	124	1,252	-	42,311
一般正味財産期首残高	239,205	48,915	46,328	-	334,448
一般正味財産期末残高	195,766	48,791	47,580	-	292,137
指定正味財産増減の部					
受取寄付金	12,300	-	-	-	12,300
一般正味財産への振替額	44,203	189	21	-	44,413
当期指定正味財産増減額	31,903	189	21	-	32,113
指定正味財産期首残高	113,143	1,085	61,237	-	175,465
指定正味財産期末残高	81,240	896	61,216	-	143,352
正味財産期末残高	277,006	49,687	108,796	-	435,489

## 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

### 1 資金調達の見込みについて

なし

### 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和元年度事業報告

## 公益財団法人 びわ湖芸術文化財団

芸術文化の創造と振興を図ってきた「公益財団法人びわ湖ホール」と、多様な文化事業を推進してきた「公益財団法人滋賀県文化振興事業団」の文化芸術部門とを統合した「公益財団法人びわ湖芸術文化財団」の3年目として、県域全体の文化振興施策を総合的に推進するため、旧2財団の強みを生かし、効率的・効果的な事業展開に努めるとともに、滋賀県から受託している滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールおよび滋賀県立文化産業交流会館の当期指定管理者の4年目として、これまで培ってきたノウハウを生かし、当該施設の適切な管理、運営を行った。

### 1 法人本部

#### (1) 自主事業等

全県域を対象に事業展開し、県内の文化ホール、文化活動者・文化団体、学校、企業や地域等とのネットワークを充実し、協働連携のもと、県民誰もが身近に文化芸術に触れられる機会を提供した。県内文化ホールと協働連携する「アートコラボレーション事業」をはじめ、滋賀県芸術文化祭開催事業、湖国文化情報「れいかる」の編集・発行、「美の滋賀」拠点形成フェア、文化プログラムフェスティバル事業等を滋賀県から受託し、また、「文化・経済フォーラム滋賀」の事務局を担うなど、県民や文化団体・関係機関等と連携しながら各種事業を行った。創刊42年を迎えた独自事業の総合文化誌「湖国と文化」を編集・発行し、引き続き、県内の身近な文化資源の紹介や文化・芸術情報を県民に提供した。新たに設置した営業部では、財団全体の情報発信や企業等からの支援獲得など営業活動を行った。

区 分		事業数	公演数	入場者数(人)
自 主 事 業	人 材 養 成	3	15	3,290
	普 及 啓 発	3	4	813
	協 働 連 携	16	37	5,796
	情 報 提 供	2	-	-
	計	24	56	9,899
受 託 事 業		5	6	332,920
独 自 事 業		2	-	-
計		31	62	342,819

### 2 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

#### (1) 自主事業等

##### ア 自主事業

滋賀の魅力国内外に発信するとともに、世代を超えて誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来館されるホールを目指し、特色ある施設機能を生かして、国内外の劇場との共同制作による「プロデュースオペラ」をはじめ、オペラ、コンサート、バレエ、ダンス、演劇、古典芸能等の多彩なジャンルで国内外の優れた公演を開催した。

特に、令和元年度、びわ湖ホール総力を集結して上演するワーグナーの「ニーベルングの指環」（四部作）の完結編となる『神々の黄昏』について、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、通常の公演は中止したものの、無観客上演および無料ライブストリーミング配信を行った結果、2日間にわたって30以上の国からアクセスがあり、延べ 413,513アクセスを記録した。

また、新国立劇場、東京文化会館および札幌文化芸術劇場と連携して「トゥーランドット」を公認文化オリンピアドとして上演した。びわ湖ホール声楽アンサンブルが新国立劇場等の11公演すべてに出演し、他ホールとの連携強化に努めるとともに、びわ湖ホール公演では大津児童合唱団が出演するなど、地域とのさらなる連携にも努めた。

また、びわ湖ホールがより身近なホールとして親しまれるよう、沼尻びわ湖ホール芸術監督がプロデュースする2年目となる音楽祭「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」や地域と連携して取り組む「びわ湖大津秋の音楽祭」を開催したほか、ロビーコンサートの実施、自主制作オペラの開催に併せたプレトークなどに多数の来場があった。オペラ初心者にも楽しんでいただける「オペラへの招待」を初めて4公演実施したほか、県教育委員会等との連携事業「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」（ホールの子事業）等を実施し、参加児童数が初の1万人越えを実現するなど、次世代を担う青少年が音楽や舞台芸術に触れる機会の提供に努めるとともに、オペラ講座や公演に関連したプレトーク、ワークショップを開催するなど広く舞台芸術の普及を図るための事業を行った。

さらに、将来のオペラ界を担う人材を育成するため、「オペラ指揮者セミナー」や「イタリア声楽曲研修」を実施した。

区 分		事 業 数	公 演 数	入 場 者 数 ( 人 )
自 主 公 演	大 ホ ー ル	8	15	18,689
	中 ホ ー ル	8	17	9,509
	小 ホ ー ル	9	29	8,240
	そ の 他	1	8	2,765
	計	26	69	39,203
普 及 事 業		18	168	45,307
共 催 等		10	11	9,469
計		54	248	93,979

#### イ 専属声楽アンサンブル運営

びわ湖ホールの創造活動の核として、びわ湖ホール声楽アンサンブルが「プロデュースオペラ」や「オペラへの招待」のソリストや合唱を担うとともに、定期公演をはじめ、各種自主事業等に出演した。また、県教育委員会等と連携し、「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」（ホールの子事業）や学校の体育館等でコンサートを行う学校巡回公演等を行うとともに、地域のホールとの協働公演を実施した。さらに、文化庁の委託を受けてオペラ「泣いた赤鬼」を中国・山陰地方で12公演実施、また、県内でも11公演行い、合計23公演実施した。そのほか、各地で依頼公演として各種のコンサートを行った。

#### ウ ネットワークの形成

県公立文化施設協議会の会長館として、館長会議を開催したほか、びわ湖舞台芸術スタッフセミナーとしてアートマネジメント研修などを実施し、県内公立文化施設のネットワーク形成や職員のスキルアップに努



めた。

## (2) 広報マーケティング

### ア 広報営業

びわ湖ホールからの情報発信とチケットの販売促進を図るため、公演チケット情報「Stage」や舞台芸術情報誌「湖響」の発行をはじめ、パブリシティ活動、ホームページや新聞5紙への寄稿、新聞・雑誌・電波等による情報提供や広告など幅広い広報活動を行うとともに、協賛の募集やスポンサーの確保、貸館についての営業活動を行った。

### イ チケット販売

組織販売に力を入れるなど、チケットの効果的な販売活動を行うとともに、インターネットによるチケットの予約購入、クレジットでの決済、コンビニエンスストアでのチケットの受取など利便性の高いサービスを提供することにより、顧客の拡大に努めた。また、大型公演では特別感を醸し出すようにSS席を適切に配置し、海外からの購入が見込まれる大型公演は、英語でのチケット購入ページを新たに作成した。さらに、U30席（30歳以下料金）、U24席（24歳以下料金）を継続するとともに、ほぼ全ての公演に青少年料金（25歳未満）を設けるなど、青少年が本物の舞台芸術に触れる機会を増やすことに努めた。

### ウ 施設利用促進

顧客法人等への営業活動により新規顧客の開拓や既利用者の継続的利用など施設の利用促進に努めた。

### エ オフィシャルスポンサー

特定の自主事業に対する協賛（公演スポンサー）および年間を通じた自主事業全体への協賛（年間スポンサー）について募集を行い、新たに令和2年度プロデュースオペラに対する公演スポンサー契約を締結するなど事業運営資金の獲得に努めた。

公演スポンサー 1者（令和2年度プロデュースオペラ「ローエンゲリン」）

年間スポンサー 3者（令和2年3月末現在）

### オ 友の会運営

顧客の拡大・定着を図り、チケット販売等を促進するため、友の会一般会員、特別会員およびサポート会員を募集し、情報の提供とチケットの優先販売を行った。また、友の会会員価格を設定するなど会員向けサービスの向上に努めた。

会員数（令和2年3月末現在）

一般会員 3,342人（クレジット会員 1,271人、非クレジット会員 2,071人）

サポート会員 355者 373口

特別会員 119者 145口

### カ 人と人とのネットワークづくり

#### (ア) 劇場サポーター運営

人のネットワークによる観客創造を目的に、第1期から第24期までの劇場サポーター 114人の研修を行い、サポーター活動の実践を通じ舞台芸術の普及に努めるとともに、第25期サポーターの募集・選考を行った。

#### (イ) シアターメイツ

青少年の舞台芸術への関心を高めるため、6歳以上18歳以下の青少年を対象にシアターメイツ会員を募集し、対象公演の優待価格設定やワークショップ、稽古見学会を実施した。

#### (ウ) 舞台芸術情報サロン・館内見学ツアー等

誰もが気軽に舞台芸術に関する情報に触れられるよう、舞台芸術情報サロンを運営し、各種サービスの

提供を行うとともに、多くの方がびわ湖ホールへの親しみを持つことを目的に館内見学ツアー（まるっとステージツアー）を実施した。

#### キ びわ湖ホール舞台芸術基金

舞台芸術の創造と発展の支援の受け皿である基金の周知を図るとともに「ニーベルングの指環」4部作への寄付者には特典を用意するなど、寄付獲得に努めた。さらに、オンライン寄付システムの運用、税額控除の優遇を受けられる法人証明の取得など寄付しやすい環境づくりに努めた。また、新型コロナウイルス感染症により公演中止が相次いだ中、多数の寄付をいただいた。

#### (3) 貸 館 事 業

利用者の立場に立ったきめの細かい対応を徹底し、リピーターの確保を含め貸館利用の促進に努めた。

区 分	貸館利用件数	入 場 者 数(人)
大 ホ ー ル	36	45,996
中 ホ ー ル	24	12,340
小 ホ ー ル	98	14,567
計	158	72,903

#### (4) 管 理 運 営

指定管理者として、建物・設備の良好な維持管理にあたり、効率的な管理を行い経費の節減を図るとともに、各ホールのほかりハーサル室、練習室、研修室、駐車場等が有効かつ安全に利用されるよう努めた。

また、来場者から要望の強かったトイレの改修について、大・中ホールの舞台機構改修に合わせ、和式トイレの洋式化・温水洗浄便座化等、快適性を確保する改修を行った。なお、駐車場の令和元年度の総利用台数は、54,220台であった。

### 3 滋賀県立文化産業交流会館

#### (1) 自 主 事 業 等

##### ア 自 主 事 業

びわ湖ホールと連携のもと、県北部の文化振興の拠点として、多目的に利用できるイベントホールを生かした公演や展示会等の利用で賑わいを創出し、より身近で親しまれる会館として以下のとおり、6つに事業区分し、文化振興および産業振興を推進した。

特設舞台として再現した芝居小屋「長栄座」における邦楽・邦舞の公演事業を中心に、邦楽・邦舞の実演家やアートマネジメント人材の養成事業、次世代を担う小学生を対象にした古典芸能キッズワークショップや音楽家の学校派遣等を行う普及啓発事業、県民の企画提案を協働で実施する連携事業、ポップスコンサート等の鑑賞事業や県内の伝統産業や地場産業を紹介する展示会や起業家向けの支援講座等の産業振興事業等をそれぞれ開催した。

区 分	事業数	公演数	入場者数(人)
公演制作	2	2	556
人材養成	3	3	1,792
普及啓発	4	27	2,800

協働連携	5	5	1,270
鑑賞	5	6	6,647
産業振興	2	5	749
計	21	48	13,814

#### イ ネットワークの形成

県民から事業の企画を募る協働事業、滋賀にゆかりのある演奏家の主催事業への出演、起業家を対象にしたセミナーの開催、滋賀県内の伝統産業や特産品等の展示即売会を実施するなど多方面で人的なネットワーク形成に努めた。

#### (2) 広報マーケティング

##### ア 広報営業

施設利用の拡大および公演チケットの販売促進のため、ホームページ、SNS等を活用した情報発信や、びわ湖ホールが発行する舞台芸術情報誌「湖響」内の「えいじゃに」コーナーへの文化産業交流会館情報の掲載をはじめ、マスメディアへのプレスリリース、新聞・情報誌・メディア等への広告掲載、ダイレクトメールや会員へのメールマガジンの配信など、広範囲にわたる広報活動を積極的に行った。

また、基金や協賛団体の確保のための営業活動を行った。

##### イ チケット販売

イベントホールで開催する鑑賞事業については各プレイガイドで先行受付を行うなど販売促進に努めたほか、個人を対象にしたインターネットでの会員制購入システムについては、加入しやすい内容に変更し、さらに利便性の向上を図った。また、今までに蓄積した顧客情報（アートフレンド・アンケート）を活用し、ダイレクトメールのほかパソコンやスマートフォンへチケット情報の案内をメール配信するなど、効果的なチケットの販売活動に努めた。チケット受取や決済の方法についても、コンビニエンスストアでの受取やクレジットカード決済などで利便性を高め、顧客の拡大に努めた。

インターネット購入登録者数（令和2年3月末現在） 4,610人

##### ウ メールマガジン「アートフレンド」運営

文化産業交流会館の新規顧客やチケット販売数の拡大を図るため、引き続きアートフレンド会員を募集し、定期的な会員向けの情報提供を行った。

アートフレンド会員数(令和2年3月末現在) 1,732人

#### (3) 貸館事業

利用者の立場に立ったきめの細かい対応を徹底し、リピーターの確保を含め貸館利用の促進に努めた。

区分	貸館利用件数	入場者数(人)
イベントホール	124	59,603
小劇場	63	7,662
会議室・練習室	671	23,749
計	858	91,014

#### (4) 管理運営

多様な方々が利用する公共施設として、適正で適切な人材を配置し、文化利用および産業利用の両面におい

てフレキシブルに対応し、今後の新規開拓はもとよりリピーターの確保を含め施設利用の促進に努めた。

ア ホール等の管理運営

安全・安心な施設や設備の維持管理にあたるとともに、効率的な管理を行い質の高いサービスの提供を行った。また、各ホールのほか練習室、会議室、駐車場等が有効かつ安全に利用されるよう努めた。

イ 来館者サービス

総合文化誌「湖国と文化」や印紙・証紙・切手・はがきを販売した。

# 正味財産増減計算書

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	485,015	476,498	8,517
受取会費	22,769,347	27,073,512	4,304,165
利用料金収益	155,148,796	216,189,363	61,040,567
事業収益	213,666,660	327,186,544	113,519,884
受取補助金等	1,593,073,732	1,537,881,104	55,192,628
受取寄付金	32,058,546	17,045,556	15,012,990
雑収益	147,881,370	165,702,978	17,821,608
経常収益計	2,165,083,466	2,291,555,555	126,472,089
(2) 経常費用			
事業費用	2,199,467,122	2,279,294,852	79,827,730
管理費用	10,469,830	11,306,552	836,722
経常費用計	2,209,936,952	2,290,601,404	80,664,452
(うち人件費)	557,815,564	559,354,285	1,538,721
評価損益等調整前当期経常増減額	44,853,486	954,151	45,807,637
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	44,853,486	954,151	45,807,637
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	2,447,970	-	2,447,970
経常外収益計	2,447,970	-	2,447,970
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	446,198	4,673,272	4,227,074
経常外費用計	446,198	4,673,272	4,227,074
当期経常外増減額	2,001,772	4,673,272	6,675,044
税引前当期一般正味財産増減額	42,851,714	3,719,121	39,132,593
法人税、住民税及び事業税	476,200	122,200	354,000
当期一般正味財産増減額	43,327,914	3,841,321	39,486,593
一般正味財産期首残高	379,557,867	383,399,188	3,841,321
一般正味財産期末残高	336,229,953	379,557,867	43,327,914
指定正味財産増減の部			
受取寄付金	22,566,243	12,193,764	10,372,479
特定資産運用益	388	398	10
一般正味財産への振替額	32,058,546	15,045,556	17,012,990
当期指定正味財産増減額	9,491,915	2,851,394	6,640,521
指定正味財産期首残高	196,877,736	199,729,130	2,851,394
指定正味財産期末残高	187,385,821	196,877,736	9,491,915
正味財産期末残高	523,615,774	576,435,603	52,819,829

# 正味財産増減計算書内訳表

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	242,508	-	242,507	-	485,015
受取会費	11,384,674	-	11,384,673	-	22,769,347
利用料金収益	65,886,646	89,262,150	-	-	155,148,796
事業収益	213,666,660	-	-	-	213,666,660
受取補助金等	1,487,899,920	105,173,812	-	-	1,593,073,732
受取寄付金	32,058,546	-	-	-	32,058,546
雑収益	10,735,390	137,144,680	1,300	-	147,881,370
経常収益計	1,821,874,344	331,580,642	11,628,480	-	2,165,083,466
(2) 経常費用					
事業費	1,917,082,745	282,384,377	-	-	2,199,467,122
管理費	-	-	10,469,830	-	10,469,830
経常費用計	1,917,082,745	282,384,377	10,469,830	-	2,209,936,952
(うち人件費)	482,738,130	72,242,384	2,835,050	-	557,815,564
評価損益等調整前当期経常増減額	95,208,401	49,196,265	1,158,650	-	44,853,486
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	95,208,401	49,196,265	1,158,650	-	44,853,486
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
前期損益修正益	2,394,600	-	53,370	-	2,447,970
経常外収益計	2,394,600	-	53,370	-	2,447,970
(2) 経常費用					
前期損益修正損	296,198	-	150,000	-	446,198
経常外費用計	296,198	-	150,000	-	446,198
当期経常外増減額	2,098,402	-	96,630	-	2,001,772
他会計振替額	52,852,068	54,196,265	1,344,197	-	-
税引前当期一般正味財産増減額	40,257,931	5,000,000	2,406,217	-	42,851,714
法人税、住民税及び事業税	-	476,200	-	-	476,200
当期一般正味財産増減額	40,257,931	5,476,200	2,406,217	-	43,327,914
一般正味財産期首残高	286,251,787	49,392,560	43,913,520	-	379,557,867
一般正味財産期末残高	245,993,856	43,916,360	46,319,737	-	336,229,953
指定正味財産増減の部					
受取寄付金	22,566,243	-	-	-	22,566,243
特定資産運用益	388	-	-	-	388
一般正味財産への振替額	32,058,546	-	-	-	32,058,546
当期指定正味財産増減額	9,491,915	-	-	-	9,491,915
指定正味財産期首残高	133,926,186	1,651,550	61,300,000	-	196,877,736
指定正味財産期末残高	124,434,271	1,651,550	61,300,000	-	187,385,821
正味財産期末残高	370,428,127	45,567,910	107,619,737	-	523,615,774

# 貸 借 対 照 表

令和2年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	501,072,383	355,815,197	145,257,186
未収金	214,164,693	228,152,174	13,987,481
前払金	470,604	2,414,124	1,943,520
立替金	-	13,540	13,540
刊行物	9,137,196	7,551,550	1,585,646
販売促進物	849,458	-	849,458
預り印紙・証紙	4,377,950	3,456,698	921,252
流動資産合計	730,072,284	597,403,283	132,669,001
2 固 定 資 産			
基本財産			
基本財産預金	22,600,000	22,600,000	-
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	-
基本財産合計	122,600,000	122,600,000	-
特定資産			
退職給付引当資産	56,114,972	56,235,981	121,009
退職給付準備預金	13,737,248	13,087,248	650,000
事業推進積立金資産	42,471,662	87,530,192	45,058,530
運営調整積立金資産	36,284,984	131,815,119	95,530,135
舞台芸術基金積立資産	39,888,785	48,727,972	8,839,187
夢キラリ文化基金預金	1,372,499	1,032,491	340,008
オリンピック・パラリンピック文化プログラム特別公演事業積立資産			
文化産業交流会館開館35周年記念事業積立資産	2,000,000	1,000,000	1,000,000
びわ湖ホール開館25周年記念事業積立資産	2,000,000	1,000,000	1,000,000
什器備品	1	1	-
ソフトウェア	1,737,288	2,730,024	992,736
特定資産合計	206,607,439	348,659,028	142,051,589
その他固定資産			
車両運搬具	628,983	1,888,835	1,259,852
什器備品	2	2	-
差入保証金	-	752,000	752,000
その他固定資産合計	628,985	2,640,837	2,011,852
固定資産合計	329,836,424	473,899,865	144,063,441
資産合計	1,059,908,708	1,071,303,148	11,394,440
負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	300,825,377	284,216,980	16,608,397
前受金	75,760,885	78,834,491	3,073,606
預り金	58,213,552	33,015,182	25,198,370
未払法人税等	122,200	122,200	-
県使用料預り金	561,234	1,482,639	921,405

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
未払消費税等	12,243,000	10,053,700	2,189,300
賞与引当金	32,451,714	30,906,372	1,545,342
流動負債合計	480,177,962	438,631,564	41,546,398
2 固定負債			
退職給付引当金	56,114,972	56,235,981	121,009
固定負債合計	56,114,972	56,235,981	121,009
負債合計	536,292,934	494,867,545	41,425,389
正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	187,385,821	196,877,736	9,491,915
(うち基本財産への充当額)	(122,600,000)	(122,600,000)	( - )
(うち特定資産への充当額)	(64,785,821)	(74,277,736)	( 9,491,915)
2 一般正味財産	336,229,953	379,557,867	43,327,914
(うち特定資産への充当額)	(85,706,646)	(218,145,311)	( 132,438,665)
正味財産合計	523,615,774	576,435,603	52,819,829
負債及び正味財産合計	1,059,908,708	1,071,303,148	11,394,440



# 貸借対照表内訳表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
<b>資 産 の 部</b>					
<b>1 流 動 資 産</b>					
現金預金	405,478,159	48,039,319	47,554,905	-	501,072,383
未収金	202,348,058	11,783,809	32,826	-	214,164,693
前払金	360,954	107,595	2,055	-	470,604
刊行物	9,137,196	-	-	-	9,137,196
物販促進物	-	849,458	-	-	849,458
預り印紙・証紙	-	4,377,950	-	-	4,377,950
流動資産合計	617,324,367	65,158,131	47,589,786	-	730,072,284
<b>2 固 定 資 産</b>					
<b>基本財産</b>					
基本財産預金	11,300,000	-	11,300,000	-	22,600,000
投資有価証券	50,000,000	-	50,000,000	-	100,000,000
基本財産合計	61,300,000	-	61,300,000	-	122,600,000
<b>特定資産</b>					
退職給付引当資産	48,809,015	7,242,649	63,308	-	56,114,972
退職給付準備預金	11,828,948	1,894,000	14,300	-	13,737,248
事業推進積立金資産	42,471,662	-	-	-	42,471,662
運営調整積立金資産	36,284,984	-	-	-	36,284,984
舞台芸術基金積立資産	39,888,785	-	-	-	39,888,785
夢キラリ文化基金預金	1,372,499	-	-	-	1,372,499
オリンピック・パラリンピック文化プログラム特別公演事業積立資産	11,000,000	-	-	-	11,000,000
文化産業交流会館開館 35 周年記念事業積立資産	2,000,000	-	-	-	2,000,000
びわ湖ホール開館 25 周年記念事業積立資産	2,000,000	-	-	-	2,000,000
什器備品	1	-	-	-	1
ソフトウェア	1,737,288	-	-	-	1,737,288
特定資産合計	197,393,182	9,136,649	77,608	-	206,607,439
<b>その他固定資産</b>					
車両運搬具	314,491	283,043	31,449	-	628,983
什器備品	1	-	1	-	2
差入保証金	-	-	-	-	-
その他固定資産合計	314,492	283,043	31,450	-	628,985
固定資産合計	259,007,674	9,419,692	61,409,058	-	329,836,424
資産合計	876,332,041	74,577,823	108,998,844	-	1,059,908,708
<b>負 債 の 部</b>					
<b>1 流 動 負 債</b>					
未払金	290,750,533	9,956,374	118,470	-	300,825,377
前受金	73,952,586	1,258,299	550,000	-	75,760,885
預り金	56,906,458	1,275,917	31,177	-	58,213,552
未払法人税等	-	122,200	-	-	122,200
県使用料預り金	236,728	324,506	-	-	561,234

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
未払消費税等	6,776,796	5,010,687	455,517	-	12,243,000
賞与引当金	28,471,798	3,819,281	160,635	-	32,451,714
流動負債合計	457,094,899	21,767,264	1,315,799	-	480,177,962
2 固定負債					
退職給付引当金	48,809,015	7,242,649	63,308	-	56,114,972
固定負債合計	48,809,015	7,242,649	63,308	-	56,114,972
負債合計	505,903,914	29,009,913	1,379,107	-	536,292,934
正味財産の部					
1 指定正味財産					
指定正味財産合計	124,434,271	1,651,550	61,300,000	-	187,385,821
(うち基本財産への充当額)	(61,300,000)	(-)	(61,300,000)	(-)	(122,600,000)
(うち特定資産への充当額)	(63,134,271)	(1,651,550)	(-)	(-)	(64,785,821)
2 一般正味財産	245,993,856	43,916,360	46,319,737	-	336,229,953
(うち特定資産への充当額)	(85,449,896)	(242,450)	(14,300)	(-)	(85,706,646)
正味財産合計	370,428,127	45,567,910	107,619,737	-	523,615,774
負債及び正味財産合計	876,332,041	74,577,823	108,998,844	-	1,059,908,708